

羽島市ボッチャ大会 競技実施要領

- 1 原則 本要領に定める項目以外は、同年度の日本ボッチャ協会フレンドリーマッチ競技規則を準用する。なお、疑義が生じた場合は大会主催者が判断する。
- 2 用具
 - (1) ボール
 - ① 試合は、主催者が用意するボールを使用する。
 - ② ただし、個人が用意したボールを使用してもかまわない。
 - (2) 投球補助具（以下「ランプ」という。）
 - ① ランプが必要な選手は、原則、各自で用意したものを使用する。
 - ② ただし、ランプがない場合は、大会主催者に事前に相談すること。
 - (3) その他
 - ① 主催者側による用具の検査は行わない。
 - ② 基準を満たした用具を、適正に使用すること。
- 3 試合形式
 - (1) 予選は3～4チームによるリーグ戦を行う。その後、予選リーグ上位チームによる決勝トーナメントを実施する。
 - (2) 3対3のチーム戦とする。予選リーグ、決勝トーナメントどちらも1試合は4エンド、4エンド終了時に同点の場合はファイナルショットで勝敗を決する。
 - (3) 先攻後攻は、じゃんけんで決定する。
 - (4) 投球数は、1エンドあたり1人2球（1チーム3人で計6球）投げる。
 - (5) ジャックボールを含めた各チームの投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ4分程度とする。
 - (6) 試合前のウォーミングアップは、1人2球とする。
 - (7) 各チーム1回目の反則行為は注意にとどめるが、2回目以降はペナルティとする。
 - (8) 1エンド終了後にチームのメンバーの交代を認める。その際、審判に交代を告げなければならない。
 - (9) 交流試合
予選リーグにおける各グループの2～4位のチームは、交流試合を実施する。1試合目は指定のチームと対戦するが、2試合目以降については、相手を見つけて実施する。（最終順位はつけない。1試合のエンド数は2エンドとする。）
- 4 チーム構成 チームの構成は男女の区分はない。また、障がいの区分もなく、3人で1チームとする。
- 5 順位決定
 - (1) 予選リーグの順位は、次の順で決定する。
 - ① 勝ち試合数の多いチーム
 - ② 勝ち試合数は同じ場合は、直接対決で勝ったチーム
 - ③ ①②で決まらない場合は、得失点差の高いチーム
 - ④ ③で決まらない場合は、総得点の多いチーム
 - (2) 上記の①～④で決まらない場合は、タイブレーク（ファイナルショット制度）で決定する。